

お寺の子ども会 西教寺進徳 だより

西教寺蔵本通支坊 2016. 2.14 呉市中央 7-7-13 TEL 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

1月 お釈迦さまジャンボカルタ

どう生きるのか

浄土真宗は、因果の道理をしつかりと学び、日の良し悪しとか方角、占いなどには頼らない教えです。そういうことで、安芸

門徒の多いこの辺りでは、恵方巻きの習慣はありませんでしたが、一九九八年にセブンイレブンが全国販売を開始、ものすごい発信力でどんどん広がっています。今年は特に、節分が終わると恵方巻きが大量廃棄されていることを知り、何とかならないものかと胸を痛めています。

そういうことで私自身、節分なんて関係ないと思っていたのですが、よく考えると、私の日常は「鬼は外（くるな）」と「福は内（くれ）」だけで成り立っているなって（笑）。さらに、そ

な生き方が大事でしようがない、痛みさえ感じなくなっていて、まさに日めくりカレンダーの鯛みたいなヤツだなんて思うのです。



新しく岩本さんと阿波さんがお参りしてくれました。

目で、顔で、口（言葉）で、身（行動）でする「無財の七施」が紹介されています。私を含め、日本中が「くれ」と「くるな」に染まる

中、もっと違う生き方があるんだとて、人のために何かできることをするって人間としてとても大切なことなんだよと教えてもらえる、気づくご縁をい

ただくつてありがたいなあって、今年のダーナの日は、なんだか特に尊く感じています。こういうご縁にあわなかったら、私はきつとみんなそうなんだからって言いながら、「くれ」か「くるな」だけ大事にして一生送るんだらうなって思うことです。

ついでに紹介すると、その仏

教婦人会をつくられた九条武子（西本願寺明如門主の娘）さんは、二月七日がご命日（如月忌）です。この



おしゃかさまジャンボかるた

方は、関東大震災の被災者の救援活動や、あそか診療所（医療）、六華園（孤児・女性）、京都女子学園（教育）など、さまざまな世のため人のために活動され四十二歳で亡くなった方です。

ももたり
百人の われにそしりの
火はふるも ひとりの人の
涙にぞたる（九条武子『白孔雀』）
こんな生き方もあるんですね。

9

この濁りある沼が
私の浄土でございまして、
あるとき一匹の鯛が
申しました。

（榎本条一 前住浄土正統・通）

今年一月行った前々住職二十五回会の記念品で作った日めくりカレンダー（毎日阿弥陀さん）

次回お寺の子ども会は、

3月13日（日）9時～10時

その次は、花まつり

4月17日（日）13時半～（予定）